

第1回 松本市アルプス公園魅力向上検討会議 意見整理表

| 発言者 | 主な意見 |
|------------|---|
| 臥雲市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・再来年は開園50年という歴史を刻む年 ・臨時駐車場としてしか扱われていない場所を、子どもからお年寄りまで、アルプス公園の玄関口としてふさわしい場所として活用するにはどういう方法が適しているのか、検討して頂きたい。 ・展望広場解体後に更地になる場所も含めたエリアの利活用を、世代を超えて未来に向けた構想を打ち立てたい。 ・松本城公園に並ぶ存在。県外から訪れる、多くの人に楽しんでもらえる、親しんでもらえる公園 |
| 原座長 | <ul style="list-style-type: none"> ・山を多角的に利用できたらいい。 ・子供たちに自然の中での体験をなるべく提供したい。 ・旭町小学校だが、総合学習としても取り組みたいという先生の強い希望がある。 ・JCの方々が開園に際し提案をして、その理念が反映された経過がある。公園の理念、趣旨というものが。「全階層の市民が分け隔てのない、素朴な憩いの場とするとともに、特に子供達が安心して遊び、学び、且つ、一家団らんの場とすべき」。それにふさわしい場所にしていけたらいい。 ・ただ、時代に合わせた利活用というのは自由であってもいい。 ・答えは現場にあるという。現地を見て歩きながら、この場所にふさわしい施設はどうあるべきか。そんなことを一緒に考えていければ。 |
| 市川 座長代理 | <ul style="list-style-type: none"> ・皆さん一人ひとりが思っていることをたくさん言い、それをみんなで提言したいなというのが私の中にはある。 ・私自身がTOY BOXを作った人間であり、この公園にも関わってきた。 ・市の教育委員会と一緒に、色々なことでアルプス公園を使えればいい。 |
| 梅津委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元町会代表。アルプス公園の下にある蟻ヶ崎台町会の町会長をしている。 ・オートキャンプ場は頭から離して、広く愛されるアルプス公園である形を検討していきたい。 ・公園を普段から利用している人達からは、色々な意見が出されている。そういう細かいことにも目を向けることが大事 ・場所的には素晴らしい。もっと親子連れが自由に利用できれば。 ・ピクニック広場への回遊ルートや視界が妨げられている部分を整備し、そこに親子連れがお弁当を広げられる姿がいいのではないかな。 |
| 小川原委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・白板地区放光寺町会の町会長を2年。今年4月からは顧問を務めている。 ・北側拡張部の関係で、自然活用実行会議・検討会議の委員も務めている。 ・誰もが気軽に訪れることのできる公園 ・もう一つは、生き返った気持ちになれるような自然。健常者は理解できないかもしれないが、そのような実体験がある。 ・松本平と北アルプスを望む展望は世界に誇れる。もちろん日本一の眺望 ・山と自然博物館を始め施設概況と利用状況を知った上で、未整備地周辺の利活用を考えたい。 |

| 発言者 | 主な意見 |
|------|--|
| 高山委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルプス公園が開園した当初から来ていて、3代にわたってこの公園にお世話になっている。 ・アルプス公園は都市公園であり、総合公園の一つ。都市公園の区分が色々ある中で、なぜアルプス公園が総合公園として位置づけられたのか。総合公園とは何かの理解が必要 ・開設時の調査とか構想とか計画で大事なところ、アルプス公園はこういう理由で開園したという基本的なところを理解したい。 ・50年余り経った中で、アルプス公園の環境特性を生かした魅力は何か、それが生かされてきたのか。生かされてこなかったのであれば、その原因が何かというところを情報共有したい。 ・10人の委員がいれば10人の考え方がある。色々なところから意見が出される、そのための検討会議であり、それが大事だと思う。そういったことを踏まえて検討していく。 ・アルプス公園の南側と北側で大きく環境が違う。南側は子ども達が走って遊べる場所で、北側は体験や自然学習ができる場所 ・中国では退耕還林という考えがある。遊んでいる土地があれば、そこは何かを開発するための土地ではなく自然に戻してもいいという考え。ただし、アルプス公園は多分そのように戻すことはできないと思うので、子どもたちのために何かをと考えている。 |
| 深澤委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・この眺望は、本当に自慢できるアルプス公園ならではの場所だと思う。 ・未来の子どもたちのためのアルプス公園になること。 ・樹木花の管理、例えばプレートがないし、壊れたままとなっている。それから花も取れたまま。水辺の広場も泥水で青く藻ばかり。きちんと掃除してもらいたい。 ・木製のテーブル、椅子など腐食が進む。防ぐ塗料を塗ってもらいたい。管理をきちっとしてもらいたい。そういうところにお金を使ってもらいたい。 ・一番残念なのは眺望台。これから南口の利活用を皆さんと検討していくが、あれは何とか復活してもらいたい。あれこそアルプス公園のシンボルだと思う。 |
| 林委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の魅力を活かしながら、多くの方が楽しんでもらえるようなものが作れないかなということで、色々検討させていただいた経過がある。 ・キャンプ場ありきではなく私も考えていきたいと思うので、より良いものとなるよう、皆さんと一緒に考えていきたい。 ・どうしたら未整備地をもっと魅力ある場所に変えられるか。せっかくの素晴らしいロケーションを何も使わないのでは、本当にもったいないと思う。松本市の魅力として活用できる場所だと思う。 ・この場所はアウトドアの聖地になりそうだと思う。松本城、サイトウキネン、温泉や色々な魅力がある中でもっと街を盛り上げたい。多くの若者たちが興味を持ってくれるのではないかな。 ・市への移住者の取材インタビューがYouTubeに上がっていた。その中にアウトドア好きだから移住したという方がいた。私の会社にも、アウトドアを身近に楽しみたいということで、移住された方もいる。そういった観点も含め、皆さんと一緒にこのエリアを考えていきたい。 ・何が魅力かという議論がこれまでなかったと思う。市議会も、ただ単にキャンプ場は駄目だ、何を考えているのだというような意見があったように感じた。こういう議論こそが必要な部分。 |

| 発言者 | 主な意見 |
|------|--|
| 田力委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・私はガールスカウトで日頃活動をし、ネイチャリングフェスタにも実行委員として携わっている。 ・子どもたちも楽しく、ここでさらに活動できるような形になったらいいが、今は非常に制限された場所が多く、本来の活動ができないという問題も抱えている。 ・ボーイスカウトとガールスカウトはキャンプのノウハウがある。綿密に準備し、当日は細やかにヘルプをしながらする。単価2,000円で2泊3日とかキャンプができるので非常に人気がある。 ・キャンプ場は色々な心配がある。夜の時間もあるので、安全性と管理の問題がある。 ・まきば山荘がなくなってからお昼を食べる場所がない。ガールスカウトでは桜の森を利用して、バーベキュー体験をした。こういう場所もあつたらいい。経験を通してだと、そういう場所を求められているのかなというのは非常に感じる。桜の森だけになってしまっている。 |
| 須澤委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・元松本市保育園保護者会連盟の会長を務めていた。 ・子どもは小学校4年と2年と年中の三人。非常勤講師4年目。育休前は公立学校の教師を13年間やっていたので教育に関わるという立場と、保護者の目線で関わらせていただきたい。 ・総合学習で迷っている学校もある。公園をきれいにしてくれる学校を募集する方法もある。 ・子どもと大人で力を合わせてできること。今、こどもの生の体験が減っている。子どもが外に出て体験ができる場所は魅力。 ・遊具広場に恐竜がいるがもったいない。長野の恐竜公園は魅力的。もっと増やしてもいい。 ・小さい子を抱えて、雨降りの土日とか冬の時期、今日どうしようと思ったことが何回かある。室内の遊べる場所が意外に少ない。平日はセンターとかプラザがあるが土日は休み。父親が不定期な仕事だと、母親の負担が楽な、子どもが元気に遊べる場所があればいい。 ・思い描くのはあづみの公園にあるネットが張られた屋内施設。これが近くにあつたら嬉しい。 ・小学校4年までの体験が将来を左右する。小学校4年までの体験によって、将来の解決能力、問題を前に動ける人材になるかどうかに関わってくる。ぜひ体験ができる場所にしてほしい。 |
| 佐藤委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・夏だけが白馬村でネイチャーガイドをしている。 ・アルプス公園は本当に大好きで、夏場は週5日来ることもある。本当に素晴らしい場所。 ・生き物の種類が多い。日本中の自然公園を回っても、ここまで多様性のある公園は他にないのではないか。 ・色々な子どもたちの学びができると思う。本物に触れられるような場所にできたらいい。 ・何処に行ったら危ないとか、どういう恰好をしていたら危なくないとか、そういうことを自分で判断できるようになるのが本当の学びだなど、ガイドをしていて感じることもある。 ・完全に草が刈られていない場所とそうでない場所の間のグレーゾーンをもっと増やして、そこで生き物とか探すなど、自然を通した遊びができる場所があつたらいい。 |